

物流ウィークリー8/25に掲載されました。

私の宝物



プラウド
石山光博社長

「これをみると、事業を始めた頃を思い出す」。
プラウド（東京都千代田区）の石山光博社長が、ドライバー派遣として、仲間と事業を立ち上げたのは8年前。従業員五人で始めた。当初は、資金もなく、駆けずり回って、その日その日をようやくしのいでいたのが実情だった。

「金はないが、何かやらなきゃと考えていた」。そんな時、知り合いが無料でポスターを作成してくれてくれた。それを「支えたい」と思い出し、よしがんばろうという気持ちを起こさせてくれる」という力がある。



「金はないが、何かやらなきゃと考えていた」。そんな時、知り合いが無料でポスターを作成してくれてくれた。それを「支えたい」と思い出し、よしがんばろうという気持ちを起こさせてくれる」という力がある。

思い出のポスター

現在、会社は順調に業績を伸ばしている。従業員は五十人を超え、創業当初の資金的な問題もなくなった。しかし、年月を経て多少変色してしまったポスターには、「がむしゃらだったあの頃を思い出し、よしがんばろう」という気持ちを起こさせてくれる」という力がある。

（高田直樹）